

令和元年10月3日

陳情第18号

小田原市立前羽幼稚園園舎の安全確認を求める陳情

小田原市立前羽幼稚園園舎の安全確認を求める陳情

【陳情趣旨】

小田原市教育委員会が平成31年3月に公表した「小田原市公立幼稚園・保育所のあり方」（以下、方針文書という）には、その結びの言葉として今後のスケジュールを挙げ、「公立幼稚園・保育所の施設の統合・廃止や認定こども園の開設についての具体的な検討を開始し、平成32年度から計画期間がスタートする新しい『小田原市子ども・子育て支援事業計画』（改定）の中に反映させていく予定です。」と記されています。

方針文書3⑧には公立施設の老朽化への対応として、「公立幼稚園は建築から40年以上、公立保育所は30年以上が経過し、老朽化が進んでおり、施設環境の改善が迫られています。」と記されています。

本陳情で指摘させていただく前羽幼稚園は、陳情者が知る限りにおいて小田原市の公立の教育施設の中でも、最も海岸に近く当然に海拔高度も相当程度に低い場所に位置しています。これだけでも先の東日本大震災を契機とした、小田原市の津波避難対策の対象施設として優先的に考慮されるべきです。

さらに近年の大型台風による度重なる風水害によるものなのか、土壌の流出減少が確認される事態となっています。土壌が何処に流出するのか陳情者は当事者ではありませんので詳細は知りませんが、不定期に陥没を繰り返していることは、教育委員会としても把握しているところです。

方針文書をどのように解釈するかは当事者意識の問題ではありません。既に招来している事態に対し、緊急性があるかどうか責任をもって判断すべきです。

教育委員会として市立学校へ供給される給食を作るための給食施設の改修を計画しているようですが、前羽幼稚園に提供されている給食は、園舎の前面に位置する国道からではなく、海岸側の道路を経由して搬入されているようです。運転者の苦労が想像できるというものです。

【陳情項目】

小田原市議会として、小田原市長、小田原市教育委員会教育長に対し、小田原市立前羽幼稚園の施設及び敷地の安全を早急に確認することを求めること。

令和元年10月3日

小田原市議会議長

奥山 孝二郎 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞